SAPPORO UNIVERSITY SUPPORTERS' public relations magazine

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌　Vol.41

発行／札幌大学後援会事務局　発行日／2013年10月30日　〒062-8520　札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内　TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai

平成25年度札幌大学後援会総会及び保護者懇談会

保護者の皆様と大学、後援会を結ぶ毎年恒例の最大イベント！
平成25年度札幌大学後援会総会、保護者懇談会をレポート

「札幌大学後援会総会」は保護者の皆様に対し、ご理解とご協力を賜るための重要な情報交換の機会です。本年は6月8日土曜日の開催となりました。総会に引き続き、保護者懇談会も開かれ、ご子女の学生生活や進路など、中身の濃い話し合いが行われました。今回は有意義な会合となった総会と懇談会の概要をお伝えします。

札幌大学後援会総会

日時／平成25年6月8日（土）午前11時～
会場／札幌大学2204教室

会場の2204教室には多くの会員の皆様にご出席いただき、予定通りのスタートとなりました。議事は平成24年度事業報告からスタート。年々充実度を増す内容は、満場一致で承認されました。続いて行われた審議事項は会長の交代について。長年ご尽力いただいた対馬徳昭会長に代わり、会員の皆様の承認を得て、猪狩哲夫氏が新たな会長に選任されました。早速、新会長に就任した猪狩氏が挨拶のマイクを握り、ご出席の皆様の前で今後への意欲と抱負を述べ、大きな拍手をいただきました。その後、改めて司会進行を猪狩新会長が務め、平成24年度決算報告、会費の納入状況などが全会一致で承認されました。続いて平成25年度の事業計画について説明・提案があり、学生の課外活動、奨学金への援助、学外研修、資格取得や受験への資金援助、外国人留学生への援助など各種補助事業が審議の結果承認され、後援会は新体制のもと、新たな船出を迎えました。

活気あふれる総会終了後、後援会から札幌大学に対し援助金の贈呈式が挙行されました。猪狩新会長から桑原真人学長に目録が手渡され、「学生が充実したキャンパスライフを過ごせるように、有意義に活用させていただきたい」と、御礼の挨拶がありました。保護者の皆様の承認を得て、後援会はその役割を果たすべく、すでに新たな活動を展開しています。

新しく後援会長に就任された猪狩哲夫氏

札幌大学保護者懇談会

日時／平成25年6月8日（土）午後1時～
会場／札幌大学プレアホールほか

毎年多くの保護者の方が参加され、活況を呈する「保護者懇談会」が後援会総会と同日の午後1時より「プレアホール」にて開催されました。これまでは3、4年生の保護者の方を中心にお集まりいただいてきましたが、今年からは札幌大学への入学を検討されている高校生の保護者の皆様の参加枠も設けられ、多くのご出席をいただきました。札大への関心が高まっている一つの証明と捉え、感謝とともに、その期待に応えなければならないという責任の大きさも痛感しています。懇談会は開会の挨拶で幕を開け、完成したばかりの札幌大学を紹介するDVDを上映。その後、桑原学長と後援会の新会長に就任した猪狩哲夫氏より挨拶がありました。続いて大学生活と就職状況と対策について、それぞれの担当者より説明があり、特に保護者の皆様の関心が高い就職状況説明会では、「キャリアサポートセンター」の積極的な利用を促すとともに、担当者より保護者の皆様に向け、複雑化・多様化した就職活動に臨む学生に対する「理解と見守り」を重ねてお願いしました。

また、札大トピックスのコーナーでは、「札幌大学インターコミュニケーションセンター（SUICC）」や「女性専用パウダールーム（SWITCH）」の開設が報告されました。またダンスプロジェクト（SPADE）や震災復興支援リムディ・i1の活動もレポートされ、地域や国際社会と一体となって発展をめざす札幌大学の真摯な取り組みを示しました。全体説明の後、札幌大学が打ち出した「地域共創学群」の説明が行われ、あわせて各学部別に個別面談を行いました。学生生活や就職状況を知る貴重な機会として、保護者の皆様の関心の高い懇談会は9月にも釧路、青森、帯広、函館、北見、苫小牧、旭川、札幌といった全道各地で開催され、多くのご出席をいただきました。

本田優子副学長

参加された保護者の声

■全体説明の内容について
札幌大学がどのような活動をして何を大事にしているかが伝わってくる内容だった。就職活動についての支援体制がイメージでき、参加して良かったと思います。

■保護者懇談会または本学について
キャンパスの緑も美しく図書館やSUICCの雰囲気もよく、とても良い大学だと思います。学生支援オフィスの丁寧な対応も札幌大学のすばらしい特徴の一つとして誇れると思いました。

■個別懇談での説明・対応について
普段の子供の様子を聞かせていただきとても楽しかったです。勉強のこと生活のこと、これからのことにアドバイスいただき、大変参考になりました。

CONTENTS

札幌大学後援会総会
保護者懇談会
後援会長就任挨拶……1面

課外活動報告
（Xスポーツ・軽音楽部）
文化系サークル補助金交付式…2面

SUICC・就職状況……3面

平成24年度事業活動及び
平成25年度事業計画……4面

札幌大学後援会長 就任のご挨拶

この度の平成25年度札幌大学後援会総会におきまして、はからずも新たに会長に選任されました猪狩哲夫です。会員の皆さまにあらためてご挨拶を申しあげます。

札幌大学後援会は平成元年に設立されて以来、山崎初三郎初代会長、そして対馬徳昭第二代会長のもと、札幌大学と会員の皆さまとの連携を密にして、相互の理解と協力によって大学の発展に大きく寄与してまいりました。これまでご尽力いただいた方々の労苦と功績に感謝申しあげるとともに、その志を絶やすことなく引き継いで行かなければならないものと思っています。

ご承知のように、今年度から札幌大学は「地域共創学群」に組織再編され、女子短期大学部も「キャリアデザイン学科」1学科体制になり、それぞれ新たなスタートを切りました。札幌大学を取りまく環境は大変厳しいものがありますが、それは一人札幌大学のみのことではなく、グローバル化社会においては常に教育改革・大学改革を先取りして行かなければ生き残れないことを示しているのだと思います。

私は札幌大学の卒業生の一人でもあります。会員の皆さまと知恵を出し合い、力を合わせて母校の発展に尽くしたいと思います。どうぞよろしくご指導・ご支援をお願い申しあげます。

札幌大学後援会
会長　**猪狩　哲夫**　さん

構内に300m² オーバーの屋内スケートパークをオープン!! 目指すは、Xスポーツの活性化と人材育成!!

スケートボードやスノーボード、サーフィンといったXスポーツの本格的な滑りを可能にした屋内スケートボードパークが本学構内にこのほどオープン。国内の大学では初となる画期的な施設について、プロジェクト推進の中心となった橋本さんに伺いました。

すり鉢状のスクエアーボールに加え、スノーボードのハーフパイプをイメージした練習や、サーフィンをイメージした滑りも可能なビッグボウルを設置。そのほか、ステア（階段）や、ハンドレール（手すり）、バンク（スロープ）を備え、街中を再現したストリートセクションも開設。さらに、初心者が安心してスケートボードを体験できるフラットゾーンも完備するなど、300m²オーバーの本格的なスケートボードパークとなっています。

世界的な潮流と学内の盛り上がりに対応

Xスポーツとは、「エクストリームスポーツ」の略称で、速さや高さとともに、華麗な技を競い合うもの。スケートボードやスノーボード、自転車のBMXなどがこれにあたり、近年はオリンピックの新種目として採用される競技もあるなど、その人気は確実に高まっています。こうした世界的な潮流に乗って、札幌大学でもスノーボードやサーフィンを愛する人たちが集まり、2010年にXスポーツ研究会を起ち上げました。その推進役が、自らもサーファーとして世界各地の波を経験し、指導員の資格も有する橋本さんです。

「それまでサーフィンはサーフィン、スノーボードはスノーボードと、個々に活動をしていた人たちを、Xスポーツという括りで集めました。団体として活動していくことで発進力を強化し、さまざまな可能性を広げていきたいですね」と、橋本さんは言います。

世界的なムーブメントと学内の盛り上がりに対応するため、本学も全面的にバックアップ。国内の大学では初となるキャンパス内スケートボードパークの建設に着手しました。研修センター内の使用されなくなったプールをリニューアル。このたびの完成を祝し、9月29日にオープニングイベントを挙行しました。高校生を対象にしていることから、オープンキャンパスとともに開催され、当日は「一度体験してみたかった」という多くの高校生で賑わいました。

オープンを起爆剤に競技の普及と活性化を推進

現在、Xスポーツ部は体育連合会準加盟の正式な部として認定され、30名以上の部員数を数えます。同部では、サーフィン、スノーボード、スケートボードの3Sを活動の主体としており、オールシーズン利用可能な屋内施設の完成を機に、今後は札大Xスポーツ部のみならず、小学生から高校生までを対象としたXスポーツプロジェクト「SKIDS」（めぇ～ず）認定団体公認予定）を立ち上げ、仲間の輪を広げ、競技の普及と活性化を推進していく方針です。

しかし、Xスポーツに対して世間には、“若者がやる危険なスポーツ”というイメージが一部にあるようです。そんな世間の理解を得ていくために橋本さんは、「うちの部では挨拶を欠かさず、礼儀を重んじる厳しい指導を行っています。Xスポーツは難度の高い技に挑戦し、魅せる部分もあることから、自己表現の一つでもあり、競技に対する考え方や姿勢が技に滲み出ることもあります。ですから、日頃の練習を通じて学生や子どもたちの心身を鍛え、人間形成に役立てたいと思っています。それだけに、指導員もプロ選手やアマチュアのトップでありながら、その主旨を理解し、対応してくれる方を招きました」と胸を張ります。

本学もこの画期的な施設のオープンを起爆剤に、今後も学生のライフスタイルにマッチした施設の提供に務め、人材育成や文化的アプローチにおいても世界標準を目指していく所存です。

経営企画室
広報担当　**橋本　要** さん

来年4月ダイワハウス工業（株）に就職が決定したX-sports部主将の田村迪大さん

合同ライブの会場費に「補助金」を利用！活動の基本は〝音楽を楽しむこと〟という軽音楽部に注目!!

洋楽、邦楽を問わず、幅広いジャンルの音楽を楽しんでいる札大軽音楽部。総勢約40名の部員が、ギターやベース、キーボードやドラムス、ボーカル等々、バランスよく別れており、楽曲やイベントによって編成を変え、ユニットを結成。日々、練習に励んでいます。その成果を披露する機会が文連祭や学校祭。さらに、学外のライブハウスでも定期的に演奏会を開催しています。

「今夏には東海大学、北星学園大学、千歳科学技術大学と合同ライブを開催しました。その会場費に後援会からの補助金を使わせていただきました。合同ライブは今回が初めてではありませんが、新入部員にとっては貴重な経験となり、現在の実力や今後の方向性も発見することができました」と、部長の吉田拓生さんは言います。さらに、「補助金は今年初めて申請し、交付していただきました。部費だけでは賄えない活動もあるので、後援会様の援助には大変感謝しています」と笑顔。今回のライブでは、Xジャパンやスーパーフライの楽曲を披露し、会場は大変盛り上がったそうです。今後も〝音楽を楽しむこと〟を基本に、経験者はもちろん、初心者も楽しめる活動を展開していきたいと、希望に胸を膨らませていました。

経済学部経済学科3年生
軽音楽部 部長　**吉田 拓生** さん

大盛況だった合同ライブ！

課外活動の一層の充実を願って！

文化系サークル補助金交付式

日時／平成25年6月25日（火）午後12時20分～
会場／第一会議室

文武両道をめざす札幌大学。後援会では、体育会系サークルへの支援はもちろん、文化連合会所属のサークルに対しても補助・支援を行っています。今年度補助申請のあったサークルは10団体。去る6月25日、文化連合会所属サークルへの補助金交付式が行われました。式次第は新体制になったことから後援会役員の紹介から始まり、続いて後援会新会長に就任した猪狩氏が挨拶のマイクを握りました。猪狩新会長は「知好楽」という論語を引用し、各サークルの代表に熱いメッセージを贈りました。その意味は「これを知っているだけの者は、これを愛好する者に及ばない。これを愛好する者は、これを真に楽しむ者には及ばない」。まさに文化系サークルの活動に打ち込む学生に相応しい言葉と言えるでしょう。これに対し、大学側から鈴木副学長が感謝の辞を述べ、各サークルに目録が手渡されました。各サークルの代表は感謝の言葉とともに、補助金を有効に利用することを誓い、式は滞りなく終了。後援会は今後も課外活動の充実を一層強力にバックアップしていく方針であり、多くの団体からの申請をお待ちしています。

平成25年度　文化系サークル補助金交付式

地域交流、国際交流をテーマに、さまざまな活動を展開するSUICCが開設されました！

地域に根ざし、開かれた大学づくりを推進してきた札幌大学は、これまで以上に地域交流、国際交流を図る場として、札幌大学インターコミュニケーションセンター「SUICC（スイック）」を新設しました。そこで今号では、2013年春の開設以来、さまざまな活動を展開し、話題を集めるSUICCについて知るため、チーフコンシェルジュの辻さんを訪ねました。

SUICCは、「Sapporo University InterCommunication Center」の略称です

■SUICC
開館／9:00～17:00(月～金)9:00～15:00(土)
料金／無料
問い合わせ／TEL（011）852−9138

SUICCは留学生を含む本学の学生はもちろん、子どもから高齢者、さらに世界中のさまざまな国の方をゲストに招き、地域交流、国際交流を促進する場所と機会を提供しています。お迎えするのは、私たちコンシェルジュと呼ばれる9人のスタッフ。「心を込めたサービスを提供したい」という考えから、“コンシェルジュ”というネーミングを採用しました。場所は本学6号館1階。旧入学センターを改修し、北欧をイメージした明るく開放的な空間を創造しました。スタイリッシュな机や椅子、AV機器などの最新設備で、ゼミやボランティア活動、講演会やコンサートなどにも対応可能となっています。また、地域とのふれあいを通して社会活動を学ぶアクティブラーニングの場としても利用され、親しまれています。

大きな空間に敢えて仕切りを設けていないのは、いろいろな人が気軽にワイワイと過ごせる雰囲気を演出するため。実際、留学生と本学の学生が談笑する様子や、短大の学生がランチをしているテーブル席の後方で、真剣な表情で講義を聞く学生も見受けられるなど、活気あふれる雰囲気に包まれています。廊下側をガラス張りにしたのも、通り過ぎる人に覗いてもらい、中で何が行われているか興味を持っていただくため。設計段階では単なる壁でしたが、私たちが要望して、ガラス張りに変えてもらいました。

SUICCは、特定非営利活動法人札幌大学スポーツ・文化総合型クラブ（愛称：NPOめぇ～ず）や、札幌大学ウレシパクラブ、札幌大学孔子学院など、これまで本学が地域や国際社会に向けて展開してきた数々の取り組みを集約。ご案内やお問い合わせの窓口になっています。SUICCのコミュニケーションメッセージは「人、地域、地球一つなぐ広場」であり、今後も地域のニーズに寄り添い、人を育てる活動を通して地域の活性化に貢献していきたいと考えています。さまざまなプログラムの開催も予定しておりますので、保護者の皆様にも私どもの活動へのご理解を賜り、本学にお越しの際は是非お立ち寄りいただきたいと思います。

SUICC
チーフコンシェルジュ　辻　みのり　さん

「SWITCH」は、女性限定のおしゃれなパウダールーム

SUICCとともに開設されたのが、女性限定のパウダールーム「make up and rest room SWITCH（スイッチ）」です。これは、「気兼ねなく化粧できる場所がほしい」という女子学生の要望に応え、新設されました。場所は6号館2階。室内には鏡台やテーブル、さらに姿見やフィッティングルームを完備。株式会社ノエビア札幌営業所のご協力をいただき、化粧品サンプルも備えています。

今後は就職活動を控える女子学生のためのメイクアップ講座も開催予定で、女性が身だしなみを学ぶ場所としても活用していく方針です。学生はもちろん、地域の方や保護者の皆様にも、本学にお越しの際には是非ご利用いただきたい施設になっています。

日程（曜日）	時　間	イベント名	会　場	主な対象
11月16日(土)	13:00～16:30	「umareru フォーラム」	プレアホール	地域の子どもたち 保護者・学生 教職員
11月13日(水) 21日(木) 27日(水)	18:00～19:30	札幌大学 公開講座	6101 教室	地域の方々
11月29日(金)	18:30～19:30	北海道インターナショナルスクール演劇発表会	プレアホール	地域の子どもたち 保護者・学生 教職員
12月8日(日)	18:30～20:30	札幌大学公開講座 ピアノレクチャーコンサート	札幌時計台ホール	地域の方々
12月14日(土)	10:30～12:30	留学生交流会 もちつき大会	カモール（リンデンホール1F）	留学生・地域の方々 子どもたち・学生 教職員

平成24年度卒業生の求人状況・就職状況

■就職決定状況

大学の内定率は83.1%で、昨年度比4.2ポイントの大幅増となり、厳しい就職環境にありながらも、大きく改善する傾向を示す結果となっています。
また、卒業者数844人に占める就職者数(493人)の割合は、58.4%（昨年度比6.5ポイント増）です。
短大の就職決定率は89.3%となり、昨年度比で17.4ポイントの大幅増です。

■業種別就職比率

大学は、サービス業24.3%（昨年21.7%）、小売業22.7%（昨年16.7%）、卸売業14.2%（昨年15.2%）、公務員10.8%（昨年12.2%）、が2桁の割合を示している。
短大は、小売業32.0%（昨年21.8%）、サービス業28.0%（昨年26.1%）、金融・保険業20.0%（昨年26.1%）が2桁の割合を示しています。

■求人件数

大学を対象とする求人件数の総数は2,636件(昨年2,414件)、うち道内企業の求人数689件(昨年618件)と増加傾向です。
短大においても、1,296件(昨年1,165件)の求人件数はありましたが、道内企業求人が386件(昨年342件)増加はしたが、勤務地を道内最優先とする学生がほとんどであることから、短大生にとっては厳しい求人内容となりました。

■就職決定状況（大学）

（平成25年3月31日現在）

学部学科＼区分		卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	前年度就職決定率
経済	経済	152	117	95	81.2%	84.2%
外国語	英語	80	55	48	87.3%	70.8%
	ロシア語	16	10	8	80.0%	80.0%
経営	経営	274	204	173	84.8%	73.1%
	ビジネスコミュニケーション	5	2	2	100.0%	72.4%
法	法	129	95	79	83.2%	89.7%
	自治行政	3	2	1	50.0%	71.4%
文化	比較文化	5	3	2	66.7%	0.0%
	文化	180	105	85	81.0%	80.8%
合計		844	593	493	83.1%	78.9%

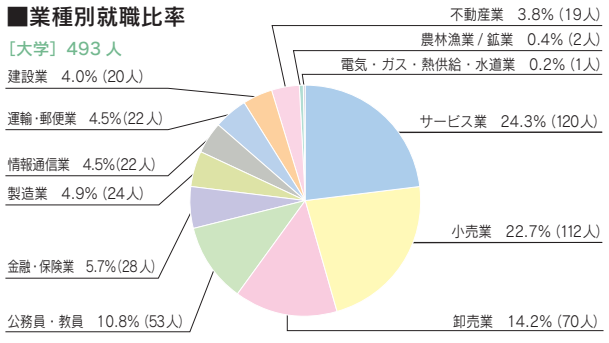
■就職決定状況（女子短期大学部）

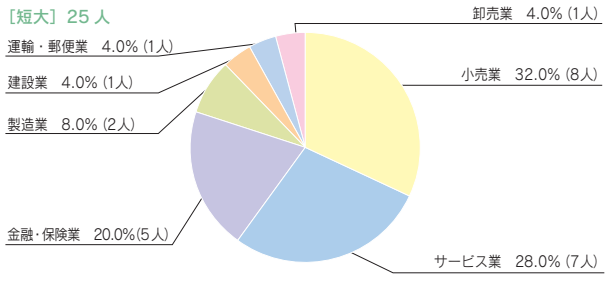
（平成25年3月31日現在）

学科＼区分	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	前年度就職決定率
英文	11	4	3	75.0%	71.4%
経営	30	24	22	91.7%	72.2%
合計	41	28	25	89.3%	71.9%

注 1）：決定率の算出方法は、就職決定者数を就職希望者数で割ったものである。

■業種別就職比率





■求人件数

	道内企業		道外企業		合計	
	平成24年度	前年度	平成24年度	前年度	平成24年度	前年度
大学	689	618	1,947	1,796	2,636	2,414
女子短期大学部	386	342	910	823	1,296	1,165
合計	1,075	960	2,857	2,619	3,932	3,579

平成24年度事業活動及び平成25年度事業計画

平成24年度事業活動

（1）補助事業

①課外活動への補助　単位：円

交付団体名	大会名	支出金額
サッカー部	第61回全日本大学サッカー選手権大会	151,200
女子サッカー部	第21回全日本大学女子サッカー選手権大会	67,200
男子バレーボール部	第65回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	109,200
女子バレーボール部	第59回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会	92,400
男子バスケットボール部	第64回全日本大学バスケットボール選手権大会	304,500
女子バスケットボール部	第64回全日本大学バスケットボール選手権大会	239,400
卓球部	第82回全日本大学総合卓球選手権大会	67,200
	第79回全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)	12,600
弓道部	第60回全日本学生弓道選手権大会	100,800
剣道部	第60回全日本学生剣道優勝大会	33,600
	第60回全日本学生剣道選手権大会	75,600
柔道部	全日本学生柔道優勝大会	81,900
	全日本学生柔道体重別選手権大会	50,400
	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	94,500
少林寺拳法部	第46回少林寺拳法全日本学生大会	50,400
	少林寺拳法全国大会inかながわ	12,600
準硬式野球部	第30回全日本大学９ブロック対抗準硬式野球大会	42,000
陸上競技部	第81回日本学生陸上競技対抗選手権	16,800
札大キャンパス応援隊	陸前高田市図書館建設ボランティア	432,600
女子羽球部	全日本学生バドミントン選手権大会	50,400
スケート部	第13回大学アイスホッケー交流戦	220,500
	第6回東日本学生フィギュアスケート選手権	8,400
	第85回日本学生氷上競技会選手権大会	16,800
	第38回東日本学生フィギュアスケート選手権	16,800
16団体	小　計	2,347,800

交付団体名	文化系サークルの活動内容	支出金額
ジャズ研究会	スタジオでの定期演奏会	50,000
優法会	文連祭での研究発表	10,000
美術部	札幌大学書道部との合同作品展	30,000
書道部	札幌大学美術部との合同作品展	30,000
劇団ダイナマイト	文連祭での上演（第７０回公演の練習）	50,000
アビーロード音楽研究会	文連祭でのライブ演奏	50,000
アマチュア無線部	技能強化合宿で道内を移動し無線の交信を行う	50,000
民俗音楽研究部	12月のライブハウス定期演奏会	50,000
写真部	市民ギャラリーでの写真展	50,000
9団体	小　計	370,000

課外活動への補助金合計　2,717,800円

②札幌大学奨学金への援助……10,000,000円
③札幌大学学外研修援助金……3,000,000円
④札幌大学資格取得等奨励援助金……5,000,000円
⑤外国人留学生への援助……5,500,000円
⑥札幌大学大学祭への補助金……50,000円
⑦卒業祝賀会への補助金……50,000円
⑧札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金……1,212,350円
⑨札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブへの補助金……500,000円

補助費支出合計　28,030,150円

（2）札幌大学保護者懇談会

開催地	開催日	参加人数
札　幌（札幌大学）	5月26日（土）	160
札　幌（札幌大学）	9月15日（土）	174
釧　路（釧路東急イン）	9月 8日（土）	19
青　森（青森グランドホテル）	9月 8日（土）	13
帯　広（帯広東急イン）	9月 9日（日）	28
函　館（函館国際ホテル）	9月 9日（日）	22
北　見（ビッツアークホテル）	9月29日（土）	17
苫小牧（グランドホテルニュー王子）	9月30日（日）	7
旭　川（ロワジールホテル旭川）	9月30日（日）	23
合　計		463

保護者懇談会は毎年5月末～6月、9月～10月に全道各地と東北で開かれます。就職をはじめ、さまざまなご質問やご相談にもお応えしています。

昨年の懇談会の様子（札幌）

（3）広報活動

「後援会だより」を10月30日、3月30日付けの年２回発行

（4）札幌大学後援会総会

日時：平成24年５月26日(土)　場所：札幌大学　2204教室

（5）札幌大学後援会役員会

〈第1回〉
日時：平成24年5月15日（火）　場所：札幌大学　第1会議室
〈第2回〉
日時：平成24年5月26日（土）　場所：札幌大学　第1会議室
〈第3回〉
日時：平成24年12月11日（火）　場所：札幌大学　第1会議室

平成24年度決算書

平成24年度収支計算書（自平成24年4月1日　至平成25年3月31日）　単位：円

科　目	予　算	決 算 額	増 ・ 減
収入の部			
前年度繰越金	57,918,233	57,918,233	0
第一種会員会費	37,000,000	36,610,000	△ 390,000
第二種会員会費	180,000	210,000	30,000
第三種会員会費	0	0	0
利息	20,000	16,988	△ 3,012
基金取崩収入	0	0	0
合　計	95,118,233	94,755,221	△ 363,012
支出の部			
基金充当金	0	0	0
補助費	30,800,000	28,030,150	△ 2,769,850
消耗品費	70,000	53,055	△ 16,945
旅費交通費	450,000	333,930	△ 116,070
印刷費	1,070,000	912,240	△ 157,760
通信費	1,217,000	950,313	△ 266,687
支払手数料	50,000	9,500	△ 40,500
会議渉外費	2,020,000	1,682,446	△ 337,554
予備費	200,000	0	△ 200,000
小　計	35,877,000	31,971,634	△ 3,905,366
当年度収支差額（次年度繰越金）	59,241,233	62,783,587	
合　計	95,118,233	94,755,221	△ 363,012

平成24年度資産（現預金）・基金内訳表（平成25年3月31日現在）　単位：円

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増　減
《資産の部》			
現金（事務室保管）	24,327	17,644	△ 6,683
普通預金（北海道銀行西岡）	42,255,676	47,008,846	4,753,170
普通預金（北洋銀行豊平）	15,638,230	15,757,097	118,867
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行澄川）	20,000,000	20,000,000	0
資産合計	103,918,233	108,783,587	4,865,354
《基金の部》			
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	26,000,000	0
基金（北洋銀行澄川）	20,000,000	20,000,000	0
収支差額（次年度繰越金）	57,918,233	62,783,587	4,865,354
基金合計	103,918,233	108,783,587	4,865,354

平成25年度事業計画

札幌大学後援会では、在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を平成25年度も継続してまいります。・主な事業計画は次のとおりです。

①後援会総会の開催（後援会活動活性化の観点から保護者懇談会【6月の札幌大学での開催】との同日開催）、②札幌大学との共催による保護者懇談会の開催（会議費、旅費交通費等の運営経費を補助）、③学生への経済的支援（1）課外活動への援助金（全国大会及びこれに準ずる大会等へ参加する部員への遠征費補助、文化系サークルの活動費を補助）、（2）学外研修への援助金（国内外の宿泊研修、臨地研修等への参加費を補助）、（3）資格取得・受験対策への援助金（能力開発センター開講講座の資格取得者への援助金、正課授業に係る資格の受験者への援助金）、（4）外国人留学生への援助金（学習奨励金を補助）、（5）札幌大学奨学金制度への援助金（成績優秀者に対する奨学金資金の援助、また23年度からは経済的困窮度を重視した生活支援奨学金の援助）、（6）地域貢献活動への援助金（めぇーずの活動資金を補助）、（7）広報活動（『後援会だより』の発行）

平成25年度収支予算

収入の部　単位：円

科　目	平成24年度決算	平成25年度予算額	増減額（決算額比）	摘　要
前年度繰越金	57,918,233	62,783,587	4,865,354	
第1種会員会費	36,610,000	33,000,000	△ 3,610,000	10,000円×3,300人＝33,000,000
第2種会費会費	210,000	180,000	△ 30,000	3,000円×60口
第3種会員会費	0	0	0	
受取利息	16,988	20,000	3,012	
基金取崩収入	0			
合　計	94,755,221	95,983,587	1,228,366	

支出の部　単位：円

科　目	平成24年度決算	平成25年度予算額	増減額（決算額比）	摘　要
補助費	28,030,150	28,200,000	169,850	札幌大学奨学金援助金
				課外活動補助金・卒業祝賀会・大学祭
				新入生学生奨励費
				学外研修援助金・資格取得等奨励援助金
				表彰
				保護者懇談会（大学分旅費）
				地域貢献費(札幌大学地域スポーツ)
消耗品費	53,055	70,000	16,945	事務用消耗品
				コピー用紙
旅費交通費	333,930	450,000	116,070	役員会、保護者懇談会（地方）
印刷費	912,240	1,070,000	157,760	封筒
				各種案内状
				会報作成
				印字
				その他印刷
通信費	950,313	1,100,000	149,687	後援会だより発送作業・発送費2回分、会費納入案内
				役員会、総会案内・保護者懇談会等の案内他
支払手数料	9,500	50,000	40,500	会費納入振込手数料・業者への振込手数料
会議渉外費	1,682,446	1,970,000	287,554	役員会会議費、総会・札幌会場保護者懇談会参加者昼食費、地方会場費
				祝儀等
予備費	0	200,000	200,000	
小　計	31,971,634	33,110,000	1,138,366	
次年度繰越金	62,783,587	62,873,587		
合　計	94,755,221	95,983,587		

編集後記

台風が去って、道内各地から初雪の便りが届く季節になりましたが、会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。年度当初の総会で猪狩哲夫さんが第三代会長に選任され、後援会は新たなスタートを切ったところです。さて、本号では、５月に開催した後援会総会と保護者懇談会の様子をお伝えするほか、札幌大学の新しい取り組みを取り上げました。その一つは、Ｘスポーツ部の活動と国内の大学では初めての施設「スケートボードパーク」、もう一つは、学内外の交流の場として札幌大学が開設した「インターコミュニケーションセンター（SUICC）」、どちらもユニークな試みではないでしょうか。また、会員の皆さまが常に気に留めておられる就職状況についても、大学担当者に昨年度の実績をまとめていただきました。きっと皆さまの参考にしていただけることと思います。